



### 小粒傾向、最終的に約10%の減産予想

中国みかんの主産地は浙江省、湖北省、湖南省となり、弊社の中国みかん缶詰は浙江省産を主体に取り扱っています。

浙江省エリアの作柄は、開花時期である4月頃は順調に受粉ができ、豊作と予想されていましたが、果実生育時期である7月中旬から8月下旬にかけて高温が続き、干ばつの影響を受けました。その影響により山地栽培地は水分不足となり生育が悪く、皺皮(シワカワ)が多く発生している状況です。平野栽培地は、外皮表面が日焼けしているものや、割れ果も多く発生し、果実が小粒傾向の状況で約30%の減産と見込まれましたがその後、天候が順調で生育は順調に進み、最終的に約10%の減産予想です。他湖北省、湖南省においても同様の被害を受けている模様です。

加工は12月から開始し、中国旧正月前迄の予定となっています。



現地の実の状況



左側 皺皮果(シワカワ)



黄色皮が日焼け果



割れ果

